

**特大容量タンク搭載インクジェットプリンター2モデルを発売**  
**消耗品交換の手間を抑えながら小規模オフィスのビジネス文書印刷を低コストで支援**

キヤノンは、特大容量タンク「GIGA TANK（ギガタンク）」を搭載したビジネス向けインクジェットプリンター「GX シリーズ」の新製品として、インクジェット複合機「GX7130」とインクジェットプリンター「GX5130」を2025年3月中旬に発売します。



GX7130



GX5130



設置場所の自由度が高いコンパクト設計

新製品は、高画質かつ低コストでのビジネス文書印刷に加えて、コンパクト設計による設置場所の自由度、大容量給紙カセットの搭載や多様な用紙への印刷対応、Wi-Fi 接続性の強化など高い利便性を備え、小規模オフィスや個人事務所における業務の生産性向上を支援します。梱包に使用する緩衝材のパルプモールドへの切り替えなど、環境配慮にも取り組んでいます。

**■ 特大容量インクと大容量給紙で消耗品の補充頻度を削減**

ブラックボトル（別売り）1本分の容量でA4約9,000ページ<sup>※1</sup>、カラーインクボトル（シアン／マゼンタ／イエロー、別売り）の場合はA4約21,000ページ<sup>※1</sup>の大量印刷に対応します。給紙カセットは1段あたり最大250枚の普通紙を搭載できます。インクや用紙の頻繁な補充を行う手間を省くことができるため、業務効率化に寄与します。また、背面給紙トレイでは窓付き封筒やポスター、長尺POP、ラベル紙などさまざまな種類の用紙を給紙でき、店舗や学習塾など幅広い業種における制作物の印刷も可能です。

**■ ビジネス用途に適した高画質な文書印刷を低コストで実現**

ブラック／カラー全色で顔料インクを採用するとともに、普通紙の印刷品質を向上させる画像処理技術により、従来機種<sup>※2</sup>と比較してコントラストを向上させ、カラー図表の明部を発色良く再現できるほか、にじみの少ないシャープな印字品位を実現しています。そのため、視認性の高い効果的な報告書やプレゼンテーション資料の印刷に適しています。また、「GIGA TANK」の搭載により、A4モノクロ文書1ページあたり約0.8円<sup>※3</sup>、A4カラー文書1ページあたり約2.2円<sup>※3</sup>と印刷コストを抑えられます。

※1 エコミーモード時。標準モード時はブラック約6,000ページ、カラー約14,000ページ。印字可能枚数は、A4カラー文書ISO/IEC24712を使用し、キヤノン独自の測定方法で算出したものです。いずれも初めてプリンターを使用する際に充填（じゅうてん）したインクボトルではなく、2回目以降に充填するインクボトルを使用して算出しています。

※2 「GX7030」（2021年5月発売）、「GX5030」（2022年3月発売）

※3 税込み。普通紙使用。標準モード時。インクコストは「家庭用インクジェットプリンターの印刷コスト表示に関するガイドライン」（一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）制定に従い記載しています。測定環境の詳細は、キヤノンホームページをご参照ください。

製品名	希望小売価格	発売日
GX7130	オープン価格	2025 年 3 月中旬
GX5130	オープン価格	2025 年 3 月中旬

- 
- 一般の方のお問合せ先 : キヤノンお客様相談センター 0570-08-0067
  - ビジネスインクジェットプリンターホームページ : [canon.jp/bij](https://canon.jp/bij)

## 〈主な特長〉

### 1) 特大容量インクと大容量給紙で消耗品の補充頻度を削減

- ブラックインクボトル（別売り）1本分の容量でA4約9,000ページ、カラーインクボトル（シアン／マゼンタ／イエロー、別売り）の場合はA4約21,000ページが可能。
- 給紙カセットには1段あたり最大250枚の普通紙を積載可能。“GX7130”はカセット2段で最大500枚の大量給紙ができるため、用紙補充の手間を削減。
- 背面給紙トレイでは窓付き封筒やポスター、長尺 POP※、ラベル紙など幅広い用紙種類・サイズに対応。店舗や学習塾などの各種制作物を印刷することが可能。



大容量給紙カセットで用紙補充頻度を低減

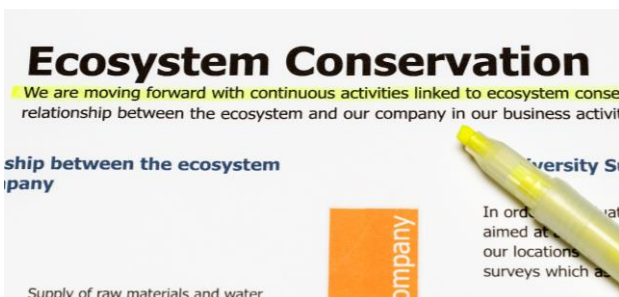


長尺 POP など幅広い用紙種類・サイズに対応

※ 長尺紙の印刷は普通紙のみ。最大用紙サイズは約 216（幅）×1,200（長さ）mm。

### 2) ビジネス用途に適した高画質な文書印刷を低コストで実現

- ブラック／カラー全色で顔料インクを採用。印字部分にマーカーを引いてもにじみにくく、ビジネス文書や教育教材の印刷に最適。
- 普通紙の印刷品質を向上させる画像処理技術により、高い印刷濃度でカラー図表を発色良く印刷するとともに、にじみの少ないシャープな印字品位を実現。視認性の高い効果的な報告書やプレゼンテーション資料で効果を発揮。
- バーコードや QR コードの印刷に適した「バーコード・モード」を搭載。印字部のつぶれが低減し、読み取り精度の高いバーコードや QR コードの印刷が可能※。



マーカーを引いてもにじみにくい顔料インクを採用



鮮明な文字や明度の高い図表

※ 本モードでは、通常印刷時の約2倍の印刷時間がかかります。

### 3) 快適に使える接続性と重要な情報を守るセキュリティ性能を向上

- 無線 LAN 対応のデバイスと直接接続する Wi-Fi ダイレクト接続では、2.4GHz に加えて、電波干渉を受けにくい 5GHz を新たに使用可能。Wi-Fi アクセスポイントがない環境でも、より安定した無線接続を実現。
- パスワードが漏えいしても通信内容が解読されない無線 LAN プロトコル「WPA3-Enterprise」や、ネットワークから情報漏えいさせない強固な暗号化プロトコル「TLS1.3」に対応し、セキュリティ性能を強化。
- 最新ファームウェアへの自動更新設定により、プリンターを簡単に最新のセキュリティ状態に設定可能。

### 4) スマホアプリとの連携やコンパクトな本体サイズで使い勝手を向上

- スマホアプリ「Canon PRINT<sup>※</sup>」を使うことで、スマホやタブレット内の写真や文書をワイヤレスで印刷できるほか、スキャンした画像をスマホに保存可能。
- プリンター本体、PC アプリやモバイルアプリにおけるアイコンなど UI デザインに統一感を持たせることで、スムーズな操作性を実現。
- コンパクト設計のため、設置場所の自由度が高く、店舗カウンターや小規模オフィスなどでも使用可能。

※ 無料。対象機種、ダウンロード方法の詳細は、キヤノンホームページをご確認ください。



スマホにある文書も手軽に印刷

### 5) 紙製緩衝材の使用など環境に配慮

- 製品の梱包に使用する緩衝材には、発泡スチロールではなく再生可能資源であるパルプモールド<sup>※</sup>を採用。
- オフモード時の消費電力を約 0.2W 以下に設定。国際エネルギースタープログラムに適合。

※ 古い新聞紙や雑誌などを水に溶かし、乾燥させて成形した緩衝材。

#### 〈インクジェットプリンターの市場動向〉

インクジェットプリンターおよびインクジェット複合機の市場において、2024年のカラー機出荷台数は国内で約281万台、全世界では約5,083万台でした<sup>※1</sup>。2025年のカラー機出荷台数については国内で約261万台、全世界では約4,888万台と見込まれています<sup>※2</sup>。

※1 出典：IDC, Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker, 2024Q4 Final Historical

※2 出典：IDC, Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker, 2024Q3 Forecast Release

#### 〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノンホームページをご参照ください。

\* Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。

\* QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。